

放射線治療後のがん再発機構の解明とその克服
-低酸素バイオロジーと放射線腫瘍学の接点-

講師：原田 浩 先生

京都大学 生命科学系キャリアパス形成ユニット
放射線腫瘍生物学リーダー、
京都大学大学院 医学研究科 講師

日時：9月30日（金）午後 3:00 より

場所：4号館3階 大講義室

概要

HIF-1 は、がん細胞の低酸素環境への適応（解糖系の亢進）、低酸素環境からの逃避（転移・浸潤能の亢進）、酸素供給の改善（血管新生の誘導）において機能する転写因子である。近年、HIF-1 活性の高いがんは放射線治療後の再発率が高いという臨床研究の結果が報告され、HIF-1 の新たな一面が見え始めてきた。我々は『移植腫瘍内 HIF-1 活性のイメージング』と『低酸素がん細胞のトラッキング（運命追跡）』という独自の手法を駆使し、『放射線治療後のがん局所再発における HIF-1 の機能』を明らかにしてきた。本セミナーではその詳細を紹介したい。

世話人：田上英明 （内線 5818、E-Mail: dan@nsc.nagoya-cu.ac.jp）